

1. 便利で快適なまちづくり

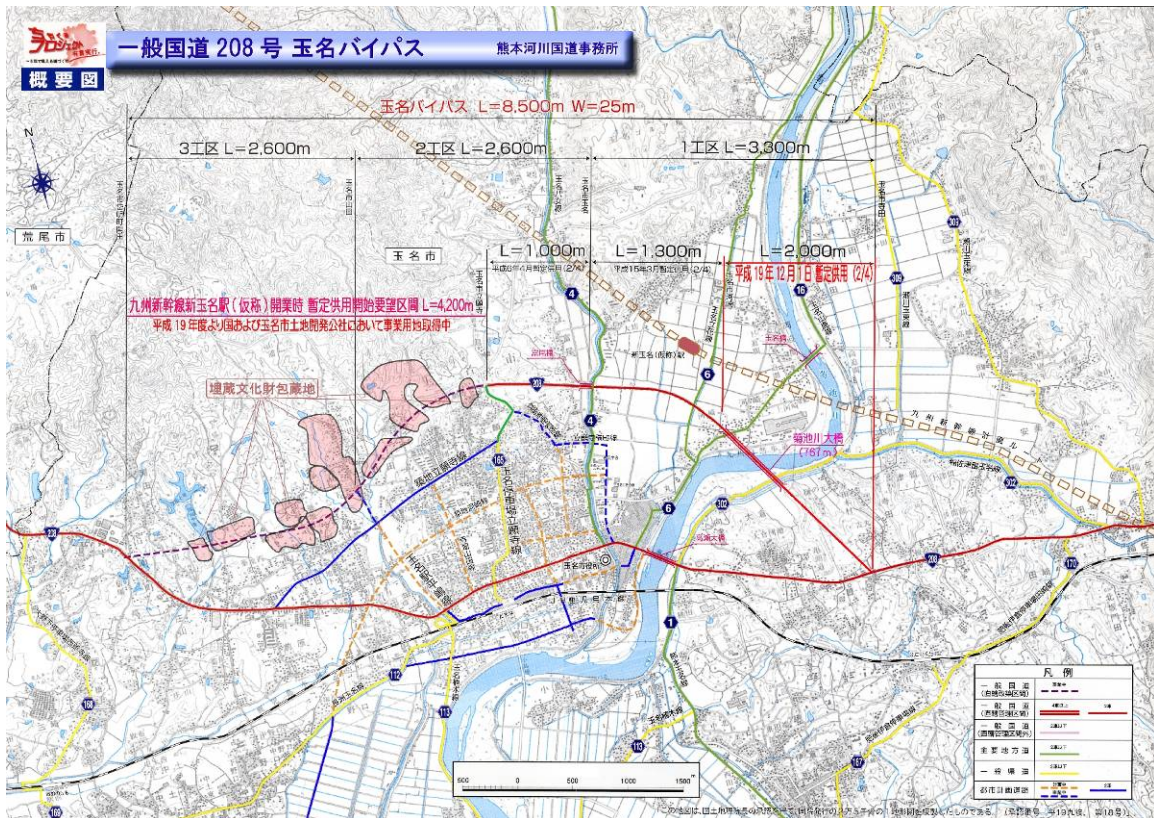
1. 道路交通体系の整備

玉名バイパス建設促進・用地取得事業
事業費・・・62,321千円

担当課・・・バイパス推進室

玉名バイパスは、慢性化する国道208号の交通渋滞の緩和、及び交通事故の抑止を目的に、昭和49年度に事業化され、現在は九州新幹線新玉名駅へのアクセスルートと位置づけられた重要な幹線道路です。全長8.5kmのうち、平成19年度までに寺田～立願寺までの4.3kmが暫定2車線で供用を開始しました。残る岱明町開田までの4.2kmについて、国と連携しながら早急な用地の取得を行い、九州新幹線の全線開業に合わせた供用を目指します。

また、国の予算確保のために、期成会等による提言活動を推進するなど、建設促進に努めます。



岱明玉名線

事業費・・・554,000千円

担当課・・・土木課

新市域の骨格を形成する幹線道路は、東西方向に走る国道208号及び国道501号を位置づけ、岱明玉名線を南北方向の幹線道路として整備しています。

これにより、主要な交通結節点を結ぶアクセス道路として、物流及び交通の活性化に寄与するよう努めます。

現在、国道501号から県道長洲玉名線までの2,600mが完成し供用開始をしているところであり、残りの国道208号線までの1,100mを平成27年度完成予定で事業を進めているところです。



岱明玉名線（一部完成）

1. 便利で快適なまちづくり

都市計画道路の整備

事業費・・・524,928千円

担当課・・・都市計画課

都市計画道路は、市民のみなさんが安全で便利が良く、快適に暮らせるようにするための、将来のまちづくりの基盤となるものです。このため、時代にふさわしい見直しを図りながら、計画的な整備を進めています。

【主な事業】

立願寺横町線：期間 H18～H23 年度

平成 23 年春九州新幹線鹿児島ルート全線開業に伴い九州新幹線新玉名駅から温泉街、公共文化施設集積ゾーン、市街地、国道208号線へアクセスする道路を整備します。

境川山田線：期間 H18～H22 年度

宅地化が進む築山地区を通り、都市計画道路築地立願寺線と玉名バイパスを結び九州新幹線新玉名駅へアクセスする道路を整備します。



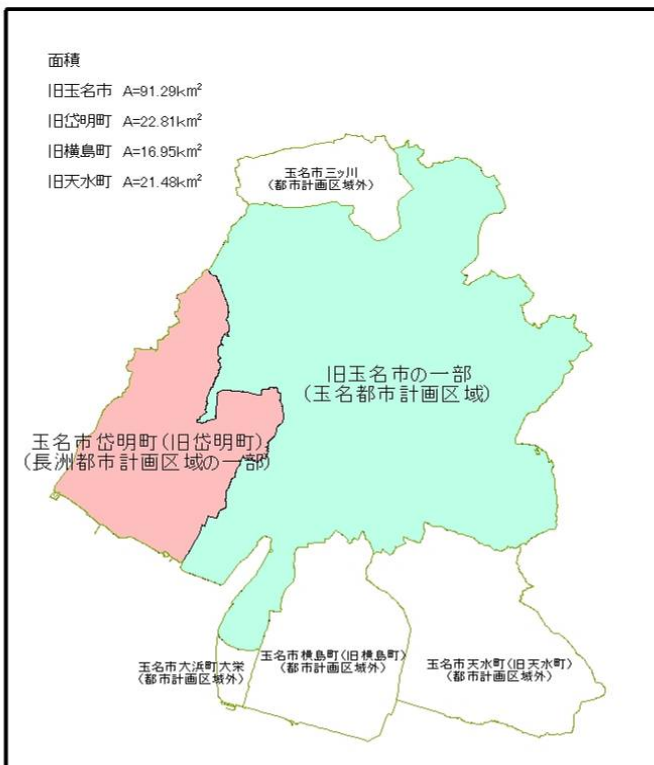
立願寺横町線（一部完成）

都市計画区域見直し事業

事業費・・・166千円

担当課・・・都市計画課

参考 玉名市の都市計画区域（現在）



現在の玉名市では、玉名都市計画区域と長洲都市計画区域の岱明地区の2つにわかれており、また、大栄地区、三ツ川地区が区域外であるほか、横島自治区、天水自治区の範囲については、合併によって都市計画区域を定めることができるようになりました。

玉名市全域を一体の都市として、誰もが暮らしやすく、快適なまちづくりを計画的に進めるため、都市計画区域の見直し事業を行います。

1. 便利で快適なまちづくり

生活道路網の整備

事業費・・・547,032千円

担当課・・・土木課

道路整備費(市単独事業)

・・・447,919千円

道路維持管理費

・・・99,113千円

生活道路網の整備では、市道の拡幅工事を行ったり、舗装を新しくするなど、市民生活に最も密着した生活道路を計画的に整備し、市民の利便性の向上と安全の確保に努めています。

道路維持では、市道の安全を守り、快適に利用できるよう、市内のパトロールを行い、破損箇所等の補修・除草(一部)、市道に付随する街路樹・街路灯・地下道などの維持管理を行っています。また、地元住民で、里道・水路を整備、補修される際必要となる機械借上げ、原材料の支給を要綱に基づき行っています。

○拡幅後舗装を新しくした市道です。



橋りょう維持事業

事業費・・・6,000千円

担当課・・・土木課

橋りょう維持事業とは、老朽化した橋りょうの長寿命化や耐久性の向上のため、構造物の劣化の予防や補修を行う事業です。

これにより、橋りょうの安全性を確保し、通行車両や歩行者・自転車等が安心して通行できるように努めます。



1. 便利で快適なまちづくり

期成会等負担金

負担金・・・734千円

担当課・・・土木課

期成会の目的は、周辺市町と一体となり既存の道路整備や新設改良の促進を図るため、道路財源の確保及び道路予算の拡大等について、国・県及びその他関係機関に積極的な要望・提言を行うことにより、地方道路に対しての道路財源が確保され、事業推進がスムーズに図られるよう活動しています。その活動を行うための費用として各市町よりの負担金を基に運営されています。

- ・玉名立花線促進期成会負担金 200千円
- ・県北横断道路推進期成会負担金 10千円
- ・国道501号線整備促進期成会負担金 250千円
- ・有明沿岸道路建設促進期成会負担金 155千円
- ・九州国道協会負担金 60千円
- ・道路利用者協会負担金 19千円
- ・日本道路協会特別会員負担金 30千円
- ・九州地区用地対策連絡会負担金 10千円



県道玉名立花線

県営道路事業負担金

負担金・・・58,700千円

担当課・・・土木課



県道玉名立花線（一部完成）

この事業は、毎年市からの要望を基に県が計画的に行う事業で、県道に関する道路の拡幅、側溝の改良、舗装を新しくするなど、利便性の向上と安全の確保を目的に改善を行う事業であり、その事業に対する費用の一部を市から負担しています。

県営農免道路整備事業負担金

負担金・・・5,371千円

担当課・・・耕地課

熊本県が行う農業農村整備事業の事業費の10%を玉名市が負担します。

この事業により農道を整備し、広域流通施設の機能を発揮させ（流通コストの削減及び高品質農産物の生産による生産性の向上）、地域農業を活性化させる事業です。



北牟田尾田農免道路

1. 便利で快適なまちづくり

2. 公共交通の充実

新幹線新玉名駅周辺の整備
事業費・・・612,000千円

担当課・・・新幹線推進課

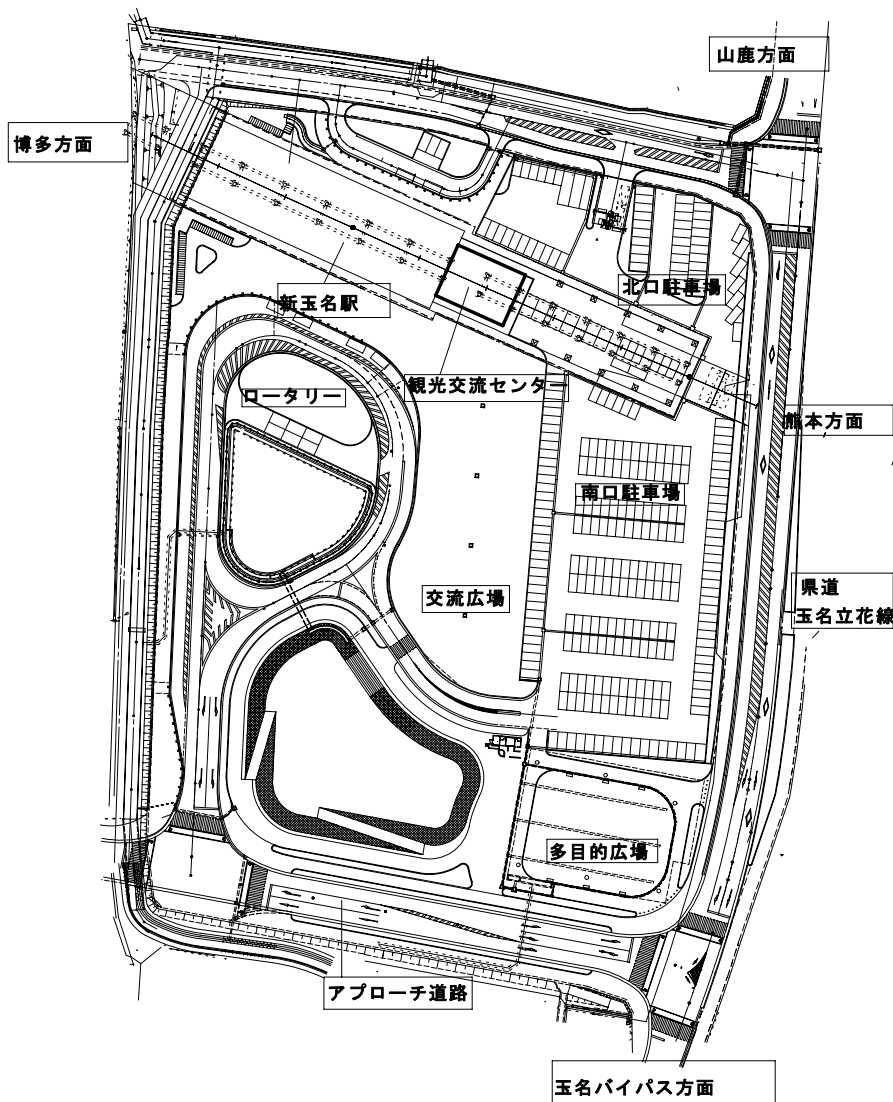
平成 23 年春に予定されている九州新幹線鹿児島ルート の全線開業に向け、九州新幹線新玉名駅周辺の 4ha に駅前広場や駐車場などを整備します。

平成 19 年度までに文化財の発掘調査も終わり、平成 22 年度までに周辺整備工事を行います。

【主な事業】

・新玉名駅前公園整備 (0.9ha)	事業費:108,000千円
・新玉名駅前駐車場整備(270 台)	事業費:17,600千円
・シェルター(屋根)等施設整備(710 m ²)	事業費:206,300千円
・大坊迫間線整備(延長 175m)	事業費:40,400千円
・新玉名停車場線整備(延長 145m)	事業費:24,600千円
・観光交流センター整備(400 m ²)	事業費:100,500千円
・九州新幹線鉄道建設負担金	事業費:114,600千円

新玉名駅前広場基本レイアウト



1. 便利で快適なまちづくり

福祉送迎バス事業

事業費・・・5, 145千円

担当課・・・高齢介護課

合併前の福祉バスは、旧玉名市内 13 地区の高齢者の温泉施設(13 地区より福祉センター)への無料の送迎バスとして運行していました。合併後は、旧玉名市、旧 3 町の市民(高齢者)の交流を目的に温泉施設への送迎バスとして、福祉センターから岱明、横島、天水の温泉施設への運行を平成 19 年 4 月から開始しました。

福祉バスは、これまで自家用車や公共機関の利用ができなかった高齢者が、送迎福祉バスを利用し外出することにより、地域間の交流、生きがい作り、健康増進を目的に運行しています。また、高齢者の交流を促進する観点から岱明の「潮湯」、横島の「ゆとりーむ」、天水の「老人の憩いの家」を結ぶ横のラインを計画しています。

今後、さらに福祉バスの利用について、市民に周知を図り、広く浸透させます。



各温泉施設を結ぶ福祉バス

バス路線網の整備

事業費・・・55, 457千円

担当課・・・企画課

地方バス路線維持費等補助金

53, 428千円

天水・河内みかんタクシー運行補助金

2, 029千円



(路線バス)

(地方バス)

地域において必要不可欠な公共交道路線の維持を図り、地域住民の生活交通の確保や福祉の向上のためバス事業者に補助金を交付し、路線バスの運行しています。

(みかんタクシー)

玉名市天水町及び熊本市河内町において、既存の路線バスが廃止になり、他に代替可能な公共交通機関がない地域の生活交通の確保を図ることを目的に、事前予約制の乗合タクシーを運行しています。

1. 便利で快適なまちづくり

3. 魅力ある住環境の整備

定住化促進事業

事業費・・・371千円

担当課・・・政策推進課

定住促進にあたっては、まず「住みたいと思わせるまちの魅力を高める」ことを基本に、関係する部署、団体や個人が連携して取り組んでいく必要があります。その上で、定住希望者に対してこれらの情報を的確に伝達し、本市への定住意欲を高め、定住行動へと結び付けていく必要があると考えています。

そこで、東京や大阪の大都市圏において開催される定住関係のフェアで相談コーナーを設け、定住希望者に直接情報を提供します。



ふるさと回帰フェア自治体相談コーナーの様様

ユニバーサルデザイン建築物整備促進事業

事業費・・・4,000千円

担当課・・・住宅課

高齢者や障害者の方をはじめ誰もが円滑に利用できる建築物の整備を促進するために、民間の事業者の方が、ユニバーサルデザイン計画書(誰もが利用しやすい建物となるように、すべての人に簡単・快適・安全などの基本的な視点について、施設整備の考え方や具体的な整備内容を記載した計画書)に基づき、国のバリアフリー法や熊本県のやさしいまちづくり条例に定められた不特定多数の人が利用する建物を、玉名市内に新築・増改築・改修する場合に、補助対象となる経費の2/3を交付します。なお、限度額は400万円で、建物の用途によっては補助の対象とならないものもあります。

【玉名市の事例】



敷地内通路 着工前



建物出入口 着工前



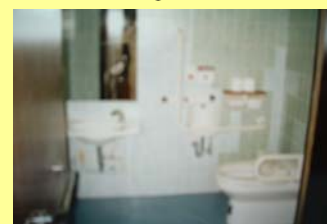
便所 着工前



敷地内通路 しゅん工



建物出入口 しゅん工



便所 しゅん工

1. 便利で快適なまちづくり

宅地開発事業特別会計

事業費・・・5,000千円

担当課・・・天水建設経済課

玉水ニュータウンは、高台に位置し眺めも良く、小学校もすぐ近くに 있습니다。全区画 100 坪以上確保しており、ガーデニング等をゆっくりと楽しむことができます。

29 区画を整備し、残り2区画が発売中です。



玉水ニュータウン

高齢者と子どものふれあい事業

事業費・・・2,498千円

担当課・・・高齢介護課

現在、少子高齢化に伴う高齢者の生きがい作りが地域の課題で、隣人関係の希薄化による高齢者の自宅引きこもりが危惧されています。一方で、少子化により兄弟の少ない子どもたちが増加しており、テレビやゲームなど一人遊びが主流で、ほとんどの子どもたちは、昔遊びを知りません。

そのような現状から、地域の高齢者が直接子どもたちに本の読み聞かせや、高齢者と子どもたちによる料理・お菓子作り教室を開いたり、クリスマス会、楽しい昔話を伝える交流会などの機会を作り子どもと高齢者との世代交流活動を地域ぐるみで推進し、高齢者の生きがいを高めるとともに子どもの健全育成を図ります。

事業については、市社会福祉協議会に委託し、一本松団地ふれあい交流館において指導員2名が交代で火曜日から土曜日までの午前10時から午後6時まで常駐しています。



高齢者と子どもたちの交流の場となっている
一本松団地ふれあい交流館

公営住宅改修工事等

事業費・・・89,632千円

担当課・・・住宅課

既存の市営住宅の活用を図るために策定した「ストック総合活用計画」を基に、建設から約30年経過して劣化が見られる明神尾団地5号棟・6号棟の外壁や防水などの改修工事を行い、安全性や耐久性等の向上を図ります。

下水道整備促進事業により旧岱明町扇崎地区の下水道管の整備が施工されるにあたり、明神尾団地の生活環境向上を図るため、排水管を公共下水道に接続し既存汲み取りトイレの改修設計を行うものです。

現在、市営住宅は32団地1,234戸を管理しています。

この中には大倉・一本松団地等昭和30年から50年代に建てられた住宅が全体の約8割を占めていることもあり、劣化や故障等に伴う修繕が必要となっています。



明神尾団地5号棟



明神尾団地6号棟



明神尾団地



明神尾団地

1. 便利で快適なまちづくり

4. 公園・緑地等の整備

公園管理事業

事業費・・・55,782千円

担当課・・・都市計画課

玉名市には、総合公園である蛇ヶ谷公園や、桃田運動公園、花しょうぶ園がある裏川水際緑地、それぞれの地区に36ヶ所配置されている街区公園などがあります。

市民のみなさんが、公園を憩いの場として、また、レクリエーションやコミュニティ活動の場として安心して利用できるように日常の管理や遊具の修繕などを行っています。



花しょうぶが咲く裏川水際緑地

都市公園バリアフリー化等整備事業

事業費・・・40,000千円

担当課・・・都市計画課

スポーツ振興課



園路などの
バリアフリー化

都市公園は、身近なレクリエーションや憩いの場として設置されており、多くの市民に利用されています。

さらに、誰もが使いやすく、安全・安心に利用できるようにするため、園路などのバリアフリー化を図り、また、遊具などの施設を長持ちさせたり、新しくする事業を行います。

平成21年度には、バリアフリー化整備の計画や、施設の長寿命化を図る計画をたて、平成22年度から25年度にかけて、蛇ヶ谷公園や桃田運動公園、古閑近隣公園などの整備を進めます。

遊具などの
改築・更新



1. 便利で快適なまちづくり

花のあるまちづくり推進費

事業費・・・6,494千円

担当課・・・都市計画課

花壇を飾る季節の花々を、丹精こめて種から育てています。育てた花は、菊池川河川敷駐車場・蛇ヶ谷公園・桃田運動公園・市役所庁舎内の花壇へ植え付けています。

また、市内の花づくり団体に、花づくりに必要な花の種・土・肥料などの購入のお手伝いをしています。花づくり団体に育てられた花は市内の各花壇に植えられています。冬から春にかけてはパンジーやハボタン、初夏から秋にかけてはマリーゴールドやサルビアの花たちが玉名のまちを美しく彩ります。

さらに、新たな花づくり団体の支援の用意も整えて、さらなる「花の都玉名」づくりを進めます。



季節の花々を丹精込めて育てています。



花づくり会補助金

事業費・・・600千円

担当課・・・横島市民福祉課



「花づくり生き生きハウス」を利用し四季折々の花を栽培することにより、市民の健康づくり及び環境美化に対する関心を高め、心豊かな住みよい生活環境及び自身の健康づくり、また、介護予防の一環として高齢者の引きこもりを防ぐため、花いっぱい運動を推進しています。

市内各地がきれいな花で飾られます。

花苗栽培事業

事業費・・・3,000千円

担当課・・・天水総務振興課

花工房てんすいでは、「花の館」上の育苗ハウスで苗を育て、道路沿いや、公共施設、ポケットパークなどへ季節の花を植栽することを活動の中心に置いて、花いっぱい運動を展開しています。また、小中学校の新入生や独り暮らしのお年寄りなどに鉢植えをプレゼントしたり、各種イベント会場を花で飾るなど様々な活動をしています。



保育所への花鉢配布

6. 情報・通信基盤の整備

1. 便利で快適なまちづくり

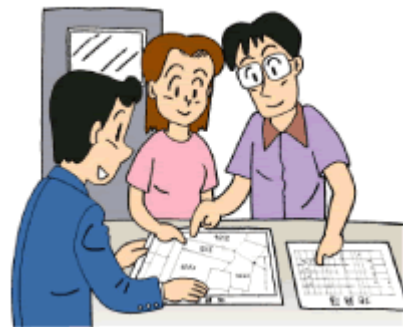
岱明地区過年度数値情報化

事業費・・・13,000千円

担当課・・・土木課

昭和41年から昭和56年にかけて実施された旧岱明町における地籍調査の成果を数値情報化し、各種土地行政の基礎資料として利活用できるようにします。今後は、官民境界が座標で管理できるようになり、境界の確認や市有財産の保全等に役立ちます。

なお、今回の事業により、玉名市全域の数値情報化が完了します。



境界の確認

情報・通信ネットワークの整備、情報サービスの充実

事業費・・・142,012千円

担当課・・・情報管理課

秘書課

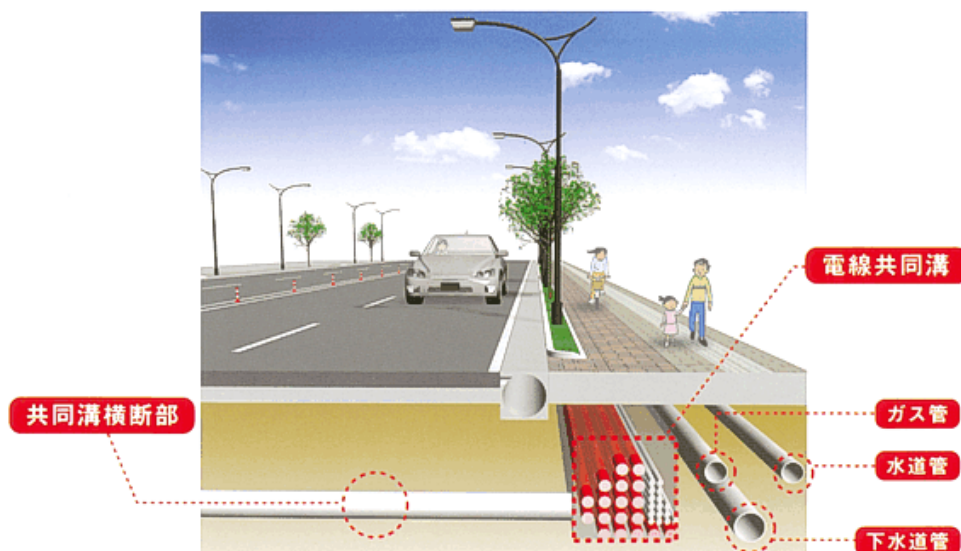
現在、国道208号の玉名市高瀬から玉名市中までの区間で、電線共同溝事業が実施されています。電線共同溝とは、道路上の電力線や通信線を地中化するために、国によって敷設される地下管路のことです。電力線や通信線を地中化することによって電柱が撤去されるため、都市景観の向上や歩道の安全性の向上が図られます。

また、地中化すると台風などの災害の影響を受けにくくなるため、断線などの被害が少なくなります。

玉名市もこの区間に、市の外局施設や小中学校を相互に接続するための光ファイバケーブルを敷設していますので、この事業に共同参画し、9,528千円の事業費で本年度、光ファイバケーブルの地中化を進めていきます。

その他、情報推進事業費で、131,045千円、ホームページの保守で、1,439千円の予算で、事業の運用を行います。

電線共同溝イメージ図



～国土交通省ホームページから～